

# よしかわ 議会だより

NO.166  
平成27年8月1日



発行：吉川市議会  
編集：吉川市議会広報委員会  
〒342-8501 吉川市吉川二丁目1番地1  
TEL & FAX (982) 9421  
http://www.city.yoshikawa.saitama.jp

## 附帯意見を付け

# 補正予算を可決

### 6月定例会の概要

6月定例会は、6月2日から6月17日までの16日間にわたり開催され、中原市長の就任後初の施政方針に対し、代表者質問が行われました。

市長提出議案21件中、1件を否決、19件は原案のとおり可決・同意し、残る1件については、附帯意見を付けて可決しました。その他4件の議員提出議案を上程、2件を可決しました。また、3日間にわたり行われた「市政に対する一般質問」では、17人の議員が市政全般について市の見解をただしました。

### 市長提出議案

#### 一般会計補正予算

提案された補正予算案は、3月定例会で可決となった骨格予算に対し、市長が政策的に行おうと考えた新規事業や投資的経費等を中心としたいわゆる「肉付け予算」です。

一般会計補正予算全体では、11億6052万7000円の補正予算が計上され、予算総額は

6月定例会の概要	1
補正予算・意見書	2
市長の施政方針に会派代表者が問う	3
答えて市長！一般質問	4
常任委員会の審査から・次定例会の日程	6
審議結果・編集後記	7
	8

## 今号の主な内容

206億5452万7000円となりました。

新たに計上された事業・予算の一部は、次の通りです。

#### ▼児童館ワンダーランド修繕

遊び場の環境整備・避難向上のため、高効率の照明・空調を整備するものです。  
5579万3000円

#### ▼毎日一万歩運動事業

歩数計を付けて、半年間、一日一万歩を歩き、前後の健康状況の測定を行う事業です。  
758万円

#### ▼公害対策事業

市内のムクドリ対策のための備品装置等を購入します。  
195万8000円

#### ▼ふるさと納税推進事業

ふるさと納税者への返礼品等を見直し、推進を図ります。  
33万1000円

なお、一般会計補正予算において、中原市長より本会議中、次の通り謝罪がありました。

### 附帯意見

1 予算案議決前にも関わらず、可決を前提として広報に事業実施の掲載をした。

本来、事業実施は議会にて議決を経た後に実施しなければならない。

今回はその大原則を逸脱した大変重大な事件であるが、市民への影響を鑑み、以後、このような事のないよう求める。  
2 一般社団法人吉川松伏医師会との信頼関係を早期に醸成するよう求める。

### 市長提出議案

次ページへ続く

質問  
します！



市民改革クラブ



公明党  
吉川市議団



日本共産党  
吉川市議員団

会派を  
代表して



自民・みらい

代表質問  
(8ページに写真説明があります。)



### 市長提出議案

前ページから続き

#### ◆各特別会計補正予算

一般会計のほか、各特別会計等の補正予算も計上され、次のとおり可決しました。

- 下水道事業 3480万2000円の増額
- 農業集落排水事業 3046万7000円の増額
- 介護保険事業 財源組み替えのみ
- 水道事業会計 収益的支出 1501万7000円の増額
- 資本的収入 3218万3000円の増額
- 資本的支出 3億6981万5000円の増額

#### 市長の給与の特例に関する条例

平成27年7月1日から平成31年3月6日までの間における市長の給与を20%減額する条例が議案提出されました。

委員会にて可否同数（委員長裁決）により原案否決となり、本会議での採決も、委員長報告のとおり賛成多数で否決となりました。

否決

#### 吉川市介護福祉総合条例の一部を改正する条例

①緊急時通報システム 救急車の出動要請のみだった従来のシステムに、センター機能を業者委託する。利用者からの受電業務を業者に委託することにより、毎月1回の安否確認の実施や、心身の状況について相談を受けることが可能となります。

②介護保険料の軽減 公費による第一段階保険料を軽減します。

28,386円（改正前）  
←  
25,547円（改正後）

③保険料の減免申請期間の拡大 被保険者の減免申請に係る利便性を向上させるため、申請期限を納期限前7日から納期限前とし、減免申請期間の拡大を図ります。

#### 人事案件

##### ◆人権擁護委員

9月30日をもって任期満了となる亀田栄一氏の後任に、関根剛氏が選任されました。

#### 議員提出議案

##### 意見書

今定例会では、4件を上程し、次の2件を可決、内閣総理大臣等へ送付しました。（一部抜粋）

##### ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書

我が国におけるウイルス性肝炎、特にB型・C型肝炎の患者及び感染者は合計350万人以上とされるほど蔓延している。ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成は、現在、肝炎治療特別促進事業として実施されているが、対象となる医療が限定されているため、医療費助成の対象から外れている患者が相当数に上る。特に、肝硬変・肝がん患者は高額な医療費を負担せざるを得ないだけでなく、就労不能の方も多く、生活に困難を来している。

##### 地方単独事業に係る国保の減額調整措置の見直しを求める意見書

今国会において「持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部を改正する法律」が成立し国保の財政基盤の強化や都道府県による財政運営に向けて具体的な改革作業が始まるところである。国保改革に当たっては国と地方の協議により、地方単独事業に係る国庫負担調整措置の見直しなどが今後の検討課題とされたところである。

一方、地方創生の観点から人口減少問題に真正面から取り組むことが求められており、全国の自治体では単独事業として乳幼児医療費の助成制度の拡充などに取り組む事例が多くみられる。さらに、平成26年度補正で用意された国の交付金を活用し対象年齢の引き上げなどの事業内容の拡充に取り組む自治体も報告されているところである。

こうした状況の中で、全ての自治体で取り組まれている乳幼児医療の助成制度など単独の医療費助成制度に対する国の減額

状況である。よって、国に対し、次の事項を実現するよう強く要望する。  
1 ウイルス性肝硬変・肝がんに係る医療費助成制度を創設すること。 他1項目

調整措置について、次のとおり早急に見直しを行うよう強く要請する。  
1 人口減少問題に取り組むにわゆる地方創生作業が進む中、地方単独事業による子ども達に係る医療費助成と国保の国庫負担の減額調整措置の在り方について、早急に検討の場を設け、結論を出すこと。 他1項目

### ◆中原市長不適切な発言で謝罪◆

6月5日の本会議の議案質疑答弁の中で、中原市長から反問権とも取られかねないような不適切な発言があり、質疑者並びに議会に対し謝罪する一幕がありました。

吉川市議会では、当日は議会運営委員会が開かれ、発言内容を精査した結果、不適切な発言があったと認定され、議会から市長に対し発言に注意するよう求めました。

#### 市長謝罪

先ほどの加藤議員に対する私の答弁の中で、反問権とも取られかねないような不適切な発言をいたしました。加藤議員並びに議会の皆様に深くお詫びを申し上げますとともに、先ほどの不適切な発言部分について削除をしていただきますようお願いいたします。

大変申し訳ございませんでした。

#### 反問権とは？

市長等が議長の許可により、議員に質問ができる権利のこと。本来、議会において市長等は説明員として出席するものであることから、吉川市議会では反問権を導入していません。

●新会派が  
結成されました●

#### しみん党

- ・降旗 聡(代表者)
- ・齋藤 詔治
- ・稲葉 剛治





# 中原市長の施政方針に 会派代表者が問う！

## ◆市長の施政方針より◆

「人とまちが輝く」

快適都市 よしかわ

の実現に向けて…

- ▼災害から市民の生命と財産を守る
- ▼子育てしやすいまちをつくる
- ▼まちの住みよさと魅力を高める

市民、議員、職員とともに「三位一体での前進」、当市のあらゆる資源を活用しての「オール吉川での前進」により、市政運営に邁進します。



6～7月に10回開催。双方向で実効性ある総合戦略を練り上げ総振の後期計画も見据えて進めたい。誇りと愛着。価値ある未来を共に築きたい。

## 公明党吉川市議員団

小野 潔

市民改革クラブ 伊藤 正勝

問 市長就任3ヶ月。基本的姿勢。心構え。予算編成方針について伺いたい。市長キャラバンを実施し、新庁舎、東口開発、新中学校建設の市民意見を聴取するとしているが、その内容。年度内に吉川版総合戦略の策定が求められている。総合振興の後期計画とも重なるがどう進めるのか。課題山積。人事権を活用しリーダーシップのとれる体制を早期に確立すべきだ。

答 基本的姿勢は市民・政治・行政の三位一体型の前進。市民の皆様には情報の公開と共有。議会とは、未来を共に創る熱い討論を。職員にはチャレンジ精神、取捨選択、スピード感を。その環境整備が大切だ。予算編成は最小の経費で最大の効果。前例にとらわれず取り組むよう指示。駅前に期日前投票所設置。一万歩運動事業。学校給食センターは食育の拠点にも。人事異動については部長級、副部长級は実施を見送り、適材適所を見極めている。市長キャラバンは

建設」は複合施設の案等の意見を聞いていく。広報については「深く反省している。議員の皆様には心よりお詫び申し上げます。」

## 日本共産党吉川市議員団

佐藤 清治

問 美南駅東口開発の土地利用計画は変えず、前の市長の案でいくということでしょうか。

答 土地利用計画はそのままです。

問 「市庁舎建設」「吉川美南駅東口整備」「中学校建設」について「市長キャラバンを実施し、市民の皆様と議論を深めていく」とのことだが実施期間、実施回数、分析・検討期間と内容について問う。また現に今、代表質問で問うている、会場借り上げ料3万円が組まれた補正予算はこれから審議するのにこの市長キャラバンを案内する記事が広報よしかわ6月号に既に掲載され配布されるとはどうか、議会軽視だ、謝罪すべきと問う。

答 市長キャラバンにて「市庁舎」は建設費、減額手法、「東口整備」はビジョン、「中学校

しているが、さまざまな背景があるのではないかと理解している。

問 予防接種は個別契約で正常化したとは思えないが。

答 医師会の理解が得られない状況で一カ月契約とした。

問 住宅リフォーム助成事業は早期に実施を。

答 実施に向け検討中です。

## 自民・みらい

中嶋 通治

問 新庁舎建設について。縮小する建設費の具体的な金額、設計を全面的に見直すのか、建設地の選定についてはどの場所を想定しているのか、建設時期の目途については。

答 将来的な負担を考慮し安価に実施する。市長キャラバンで市民の意見を聞く。調整区域に建設することは考えていない。早く9月、遅くとも12月迄には結論を出したい。

問 美南駅東口周辺の開発について。どなたを対象に、どのような手法で、何時までに合意形成を図るのか。

答 地権者を対象に、現在、公

問 美南駅東口開発の土地利用計画は変えず、前の市長の案でいくということでしょうか。

答 土地利用計画はそのままです。

問 庁舎建設費の削減目標は。

答 キャラバンで幅広く意見を伺った上で判断したい。

問 第四中学校建設は平成29年からの後期計画(5年間)にはつきり位置づけするということでしょうか。

答 後期計画には入っていくと考えている。

問 医師会の除名問題について現執行部の運営方法に異議を唱える行動を取ったため除名になったと言っているがこれでは関係改善は進まないのでは。

答 吉川・松伏医師会という中に吉川医師会を作ったという事が直接的理由だという事は理解

## ◆ご意見・ご感想をお寄せください◆

議会だよりをご覧になったご意見・ご感想をお寄せください。

〒342-8501 吉川市吉川二丁目1番地1

吉川市役所 議会事務局

FAX (982) 9421

## ホームページ

ぜひ、ご覧ください！

吉川市議会

検索



本会議の会議録や議会活動などは、市のホームページでご覧いただけます。(今定例会の会議録の提供は、9月上旬予定)ぜひ、ご覧ください。

安委員会より幹線道路の変更を求められ休止している。今後、市民の意見を集約し、11月頃までに意向確認を行う。これまでの流れを活かす。

問 公約で仮称第4中学校は最優先との事であったが最優先の裏付け、日時については。

答 リーフレットには新中学校建築を最優先とは書いていない。庁舎予算を少額に抑え新中学校に回せまいだろうかと表現した。

問 市民劇団について、生活困窮者等にお金を回したら如何か。

答 両輪として力を入れたい。



# 答えて市長！

## 一般質問

今定例会では、17名の議員が市政全般にわたり、市の見解をただしました。その主な内容を質問者が要約してお知らせします。詳細は会議録をご覧ください。

会議録はホームページや市立図書館で閲覧できますが、今定例会の会議録の提供は9月上旬となる予定です。

### 南部地域の

#### 中学校建設を急げ

安田 真也

問 市長が県議時代に発行したリーフレットによると、とある美南地区に住む人の声として、平成26年に中学校が完成する予定が建設未定になったとの会話を記載しているが、教育委員会として公式・非公式問わず、そのような発表をしたことがあるのか。

答 教育長 過去に公式・非公式を問わず、新設中学校の完成年が平成26年であるとの発表を行ったことはない。

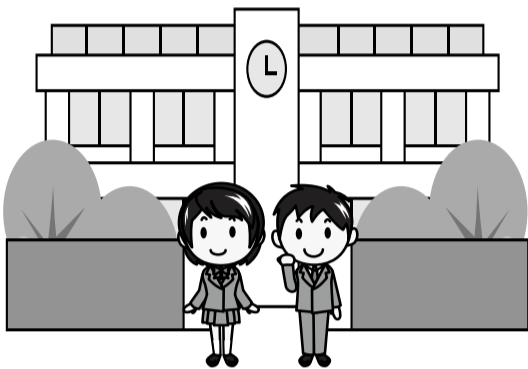
問 庁舎建設に大きなお金をかけるよりも、未来を担う子供達への教育環境の整備こそ最優先すべきの真意は。多くの市民は庁舎よりも中学校建設を優先させると思っているが。

答 市長 庁舎建設よりも中学校建設を優先させるということではない。

問 前市長は平成32年を目的に建設を検討していた。市長は早期建設を訴えて当選したのだから、スピード感が必要では。建

設の考え方は。

答 市長 児童生徒数の推移を慎重に見極めながら、早期に対応してまいりたいと考えている。



### 医師会との

#### 関係修復について

加藤 克明

問 医師会から除名された医療機関が除名になった理由は。

答 市長 吉川医師会を設立する行動をとったことが除名理由。

問 市長ブログの書き込みは、誤解を招く表記では。

答 市長 インフルエンザの価格

を独自設定した為には書いていない。

問 3医療機関(除名された2医療機関を含む)と個別契約を締結したが、医師会にも理解して頂けない状況、議会にも囂らず、契約するとは如何か。

答 市長 市民が確実に受診できる体制が重要。是非、ここからは議会と医師会にも理解して頂き、事業を進めていきたい。

#### ◆フロリデーションについて

問 事業推進の予算ではなく、虫歯予防等の情報提供の予算計上であり、国や県も同様の啓蒙・啓発・情報提供している。なぜ、事業実施もしていないフロリデーションを推進していると認識したのか。

答 市長 前市長のコメントから今後も推進していくものと認識した。

### 『スーパー』の騒音・悪臭等から住民の生活環境を守れ！

稲垣 茂行

問 騒音・悪臭等の被害が続い

### 地方創生へ吉川市は

#### どのように取り組む考えか

中村 喜一

問 農地の集約化は地方創生の重要課題ではないか。

答 市長 当市は農業振興地域の割合の多いことが、地域特性のひとつと考えている。第5次総合振興計画において生産基盤の整備や農業経営の活性化など魅力ある農業の振興をはかることとしている。地方創生への取り組みにおいても、農業振興について議論していく。

問 計画策定プロセスに市民参加が必要ではないか。

答 政策室長 市民の積極的参加に向け、市民アンケートや市民ワークショップ、パブリックコメントなどで幅広い年齢の方々から多様な意見を集約していく。

問 「産業まちづくり地域」に墓地開発が進行中だが、計画意図に反するのではないか。

答 市民生活部長 土地利用構想は、長期的視点に立って将来の方向性を示したもので。墓地につ

いては周辺環境への配慮がより求められる施設であり、周辺環境に配慮されるよう、今後、墓地埋葬等に関する法律施行条例の見直しを検討する。

### 「コミュニティ醸成に

#### 今後も支援に努める

降旗 聡

問 「自治会活動への支援拡充について」①コミュニティ醸成・イベント開催助成制度の創設について。②健康増進・スポーツ行事開催助成制度について。

答 市長 安心・安全に、地域で快適に生活していくためには、日頃から地域とつながりを持ち、隣近所の顔の見えるお付き合いができることが必要だと考えています。

地域をつなぐを築く上で、基盤となるのが自治会であり、様々な活動を通じて、地域住民の交流や相互の理解が深められるものと認識しています。

このようなことから、市では、自治会活動補助金を設け、自治会活動を支援しています。

今回の補正予算で、介護予防教室の開催に対する奨励交付金を計上させていただきました。

現在、自治会活動支援としてスポーツなど個別の助成制度は考えていませんが、今後も、引き続きそれぞれの自治会で様々な事業を通じて、地域コミュニティが醸成されるよう支援に努めたいと考えています。







### 空き家 対策について

中嶋 通治

問 国で空き家対策特別措置法が施行され、これに向け対応は、  
答 市民生活部長 空き家等の所有者の戸内データを使用し情報の収集を行っている。

問 平成23年から倒壊寸前で放置され、そのままになっていると、第2、第3の空き家が出てくる、栄町地区の空き家をどうするのか。  
答 市民生活部長 倒壊の恐れがあり、特定空き家に該当すると思われる。今回の法律を受け適正に処置する。

問 市長にも現場を見てもらいたい。  
答 市長 現場周辺の人に聞いてみる、大きな問題で検討する。

◆ふれあいサロンの拡充は  
問 サロンの意義をどの様に捉



介護予防教室のようす(高久1区)

えているのか。また、今後サロンの開催をどの様に推進していくのか。

問 健康福祉部長 高齢者の孤立防止、高齢者が主体的に運営に参画することで生きがいになる。  
答 健康福祉部長 介護予防教室で拡充している。

### 市長の政治姿勢 行財政改革

山崎 勝他

問 新庁舎建設の再考と、第4中学校新設の優先順位は。吉川美南駅東口周辺地区開発ビジョンは。

答 市長 市長キャラバンで市民から意見を集約し総合的に判断し検討して参る。第4中学校新設を最優先する考えはない。キャラバンを通じ市民からアイデアを聴き、市の顔として誇れる将来像を描いてまいりたい。

問 定員管理や社会人枠の新設、職員養成の施策は。  
答 政策室長 第4次よしかわ行財政改革大綱に基づき、組織体制を整備し計画的に進めていく。民間企業の経験や新たな発想を持った即戦力となる人材を採用していきたい。

◆農業振興策  
問 経営所得安定対策と交付金制度の加入状況は。米の消費拡大を。  
答 市民生活部長 平成26年度の実績、直接支払交付金は42件、水田活用(加工用米・飼料用米)は15件です。体験田植えや稲刈り等イベントを開催し、消費拡大に努めている。

市内民間事業者との災害時応援協定の推進を

### 市内民間事業者との 災害時応援協定の推進を

互 金次郎

問 災害時に住民が必要とする物資を、円滑に届けられる体制の整備は、大変重要なことです。市内スーパー「マルサン」と6地域の自主防災会が災害時の食料・物資の供給協定を締結したとの新聞報道がありました。吉川市としての市内民間事業者との災害時応援協定の現状は。

答 市長 市内事業者との災害協定は、食料及び生活物資の供給で1団体(JAさいかつ)、医薬品等で1団体(薬剤師会)です。今年度は、物資供給と物流に係る市内事業者に対し、市との災害時の応援協定を呼び掛け、災害時の協力パートナーを増やし迅速な災害対策につなげます。

◆健康マイレージ事業と市内の障がい者授産施設等の連携を  
問 健康・体力づくりポイント制度事業(健康マイレージ事業)の交換賞品にラッピーカードと共に市の「障害者就労施設等からの調達に関する方針」に基づき、障がい者授産施設の製品をポイント交換景品の対象に加えては。  
答 健康福祉部長 研究します。

### 吉川版「ネウボラ」 産後ケア事業の実施を

五十嵐 恵千子

問 「ネウボラ」とは、フィンランド語で、子育てのアドバイザーを行う場所という意味で、妊娠から出産・子どもが生まれた後も基本的には6歳まで切れ目なくサポートを提供する総合的なサービスの事です。政府も今後、全国展開を目指すこの事業と産後ケア事業の実施を。  
答 市長 国では今年度からの事業です。他市の利用状況を研究し必要と考え前向きに進めたい。

◆保育環境の質的向上を  
問 今保育現場は、子ども達がより健全・安心・安全な環境とすることが求められています。量の拡充と共に、市単独補助事業のさらなる拡充で質的向上を。  
答 市長 現場からの要望を踏まえ、質的向上である運営の改善が図られるよう、検討します。

◆誰もが安心の地域医療体制と保健事業の実施を  
問 医師会との契約が切れれば当市は大混乱になると危惧しています。医師会との関係修復を。  
答 市長 ご理解に努めます。

### マンション管理組合の 機械式立体駐車場対策について

小野 潔

問 築20年以上経過したマンションの機械式立体駐車場の保守点検、維持管理費が数年で700万円以上かかる。立体を止め地上平面駐車だけで駐車台数を半減にする案があり、市に問い合わせたところ「まちづくり条例」で台数を定めているため出来ないとの回答。まちづくり条例の改正を視野に改善策を。  
答 都市建設部長 検討すべき課題と認識している。近隣他市をみながら基準の見直しを考えていきたい。

◆吉川駅周辺の浸水被害対策  
木売落としての整備と南中周辺  
問 市長の言う木売落としての観光化と貯留設備との整合性は。南中周辺の水害対策の進捗状況。  
答 都市建設部長 観光化も取り入れるが二層構造の浸水対策が優先。大場川等の河川改修を県へ要望していく。

◆学童保育室の給食導入を  
問 学校が長期休み期間に学童保育の昼食に給食を導入しては。  
答 健康福祉部長 現在週3回お弁当を用意している。今後同じように行う。  
問 週5日にする事は出来ないか。  
答 健康福祉部長 平成19年に行ったアンケート結果をふまえ、その予定はない。

### 市民の方と共に 広報活動を

稲葉 剛治

問 広報よしかわや、市HP等に、掲載する記事の作成にご協力頂く、「よしかわ特派員」を募集してはと考えるがいかがか。  
答 市長 市民の方と共に広報活動を行うという事は、市民の方達が吉川に住んでいる充実感を感じing上でも、また今後の総合戦略においても、市民の力が重要だと感じている。こういった形で共に行う広報活動というのは非常に意味があると思う。紙面上スペースの関係で難しいが、市HP等に載せる事については可能性はある。その辺を含めて検討していく。

### 答えて市長！一般質問

次ページへ続く



## 小中学校普通教室への エアコン設置を早急に

遠藤 義法

問 市長は学校のエアコン設置について、保護者や学校現場の声を直接聞いて判断すると今議会で答弁している。日本共産党市議団の予算要望書には、実施に向けて調査、検討すると回答している。早急に実施すべき。  
答 市長 要望書に回答した通りです。

答 教育部長 設置費用は、買取りの場合約9億円、リースの場合年額1億2千万円である。今後設置方法等検討する。



◆吉川美南駅東口開発は住民合意が必要

問 美南駅東口開発地内の住民は、減歩や清算金、税金等の負担増に対して不安がある。個々の要望をしっかりと聞き対応することが求められている。駅前に

2.8 haの土地を先行して購入している。売却のみでなく公共的な活用も考える必要がある。

答 都市建設部長 既存にお住いの方には合意形成を図る必要がある。丁寧な説明をしていく。2.8 haは産業系用地として先行取得したもので、公共施設を建設する考えはない。

## 必要な介護をするために 求められる施策は

高野 昇

問 介護報酬2015年度改訂は処遇改善加算を除けば、介護事業所の報酬はマイナス4.48%と大幅である。事業所の経営に影響が大きく、介護従事者の処遇にも影響が大きい。処遇改善は常勤が対象であつて、非常勤職員などは対象でないが。

答 健康福祉部長 市内の特養において報酬の減額が生じるものと考えている。介護従事者も短時間労働者は処遇改善の対象ではなく、経営の悪化により影響があるとすれば、今後の課題になると考えられる。

◆性的少数者(LGBT)の人權を守る取り組みを

問 人權侵害が無いように、職員研修や啓発活動を行うとのことだが、性同一性障害に保険適用を加えたり、同性のカップル

が一緒に暮らすにあつての不利益の解消など、具体的な施策の改善が必要ではないか。  
答 副市長 公的提出書類の不必要な性別欄の撤廃等しておりませんが、今後いろいろなるものを調査する中で、市としてできる対応を検討してゆきます。

## 安倍内閣の戦争法案に 市長は反対を

佐藤 清治

問 安倍政権は憲法九条を踏みこじり、日本を海外で戦争する国に造り変える戦後最悪の戦争法案の成立を狙っている。

市長は反対の態度を表明し運動の先頭に立つべきではないか。  
答 市長 私としては、国民の命と安全な暮らしを守る事について国民的議論が行われると共に国会で十分かつ慎重な議論が行われるべきものと考えられる。

◆社会科の教科書採択について

問 今年の夏、来年度から四年間使用する中学校教科書の選定がある。教科書の採択は教育委員会

の権限で行われるべきで、市長は介入すべきでなく権限もないと考えるが見解は。  
答 市長 教育委員会の専権事項である教科書の採用・決定について、私が介入する考えはない。

◆雑草対策

問 市民の方から吉川美南駅の三郷寄りホーム線路間の雑草刈取りの要望への対応を。

答 政策室長 美南駅から線区全体で順位をつけ対応していると伺っている。

借地公園の活用で

三輪野江小学校区に公園を

小林 昭子

問 広報で公園借地の協力を広く求めて具体化してほしい。  
答 都市建設部長 広報、HPで広報するのも方法と考える。

◆新きぼり下流部大雨時の対策

問 三郷境の水路閉鎖の解決を。  
答 市民生活部長 三郷市は水が多くなる為堰を高くしているが市としては大雨時他へ流入するので引き続き協議する。

◆建退共制度促進の取り組みを

問 公共工事現場での加入状況・証紙貼付状況確認と説明会を。

答 副市長 工事現場ではしていないが、受注者の共済契約者が証紙を手帳に貼付し消印を規定する約款に基き適正に実施。市は独自で定めた建退共証紙貼付実績報告書に基づき確認する。

◆派遣法改正案への市長見解は

問 派遣労働者の正規雇用の道を閉ざし格差を広げるものではないか。  
答 市長 派遣法の改正は派遣労働者の雇用を安定させ派遣期間をよりわかりやすく見直すものと認識している。一層の雇用の安定を図る様国会審議を期待する。

## 市民の命の安全安心と 情報公開条例どちらが大事か

齋藤 詔治

問 公務中の市職員が暴力を受けた場合、人の生命、健康、生活又は財産を保護する公務が一次的に執行出来なくなり、広い意味で安全安心な市民生活が間接的に脅かされる事と考えるが。

答 副市長 暴力行為は、その対象が誰かに関わらず誰に対しても、許される事ではない。市職員の業務範囲は広範囲に及んでおり、一時的に公務の能率低下が考えられます。

問 情報公開条例は、犯罪者(加害者)を守り、隠蔽等に寄与する事があつては成らないか。

答 副市長 条例は市民の知る権利を尊重し、犯罪者を守り隠蔽などに寄与するものではない。

問 責任者の恣意的な判断で条例をタテに情報の改ざん、真実の隠蔽が為されてしまい、犯人隠蔽の罪すら懸念される状況に市長が遭遇した場合、公開は。  
答 市長 このような場面に直面した場合、事実を先ずきちんと把握し、次に出すべき情報はき

ちんと提示し、そして今後そういう事態が起こらないよう、組織としてどう言う動きを取るべきが検証していきます。

## 市政運営は総合的に 一体的な取り組みを!

伊藤 正勝

問 総合戦略策定の基本理念に▽おしやれでいきいきとしたまち▽「健康」を柱にしては。総合的、一体的な取り組みを。

答 市長 広範な声を聞き、市民満足、価値の向上をめざし施策事業を推進する。安心や幸せを実感できる戦略、サービスを実現したい。

答 政策室長 人・まち・仕事の創生については持続的な好循環の確立が必要。一体的で相乗効果のできる計画、取組みを目指す。市民アンケート、ワークショップなどで衆知を集めたい。

問 一級河川の大規模改修や骨格道路整備は国、県の予算。もつと活用の視点を。高齢者支援システム、総合的子育て支援はモデル事業として推進しては。  
答 都市建設部長 江戸川、中川、大場川。334号線・さくら通りの延伸など県道整備は注視し、早期整備を働きかけたい。

答 健康福祉部長 毎日一万歩運動や健康づくりのポイント制度導入。なまらん体操の普及にも務める。地域包括支援のシステム、子育ての総合支援は、準備し着実な前進をはかりたい。





# 常任委員会の審査から

議案や請願は詳細に審査するため、担当常任委員会に委ねられ、専門的に審査されます。主な審査内容を各常任委員長が要約してお知らせします。

## 総務水道常任委員会

### ◆市長の給与の特例に関する条例

減額20%の根拠は、20%減額で月額約17万円減額となる。この額であれば、NP0やその他の団体への支援として、3〜5団体を支援できるものと考えたため。

### 反対討論

限られた予算の中で、高齢者や低所得者、子ども達などまだまだたくさん求められる事業があります。それらに優先して予算化し、実施するのであれば、市民に説明し、理解を得ながら実施すべきであります。そういうことなしに、「この事業、これらの団体の支援分は私の給与のカット分からですよ」と言い張るのは、選挙向け、市民向けの

市長のパフォーマンスであります。他、一件反対討論あり

可否同数 委員長裁決で否決

### ◆平成27年度一般会計補正予算

財産管理費の新庁舎建設事業については、市長自身が場所を含めて見直しとされており、基本構想や基本計画、庁舎建設等検討委員会の報告とそれとすまうが。構想や計画等、これまでの検討経過を踏まえるとして。早くても9月、遅くとも12月には具体的な方向性についての判断をしていくと考えている。

賛成多数で可決

### ◆平成27年度一般会計補正予算に対する附帯意見

委員より提案があり、審議。(1ページに全文掲載。附帯意見1)

賛成多数で可決

### ◆平成27年度水道事業会計補正予算

水道事業の今後は。水道料金の早期値上げは見込みである。県水の明確な値上げは確認されていない。

賛成全員で可決

## 文教福祉常任委員会

### ◆吉川市介護福祉総合条例の一部を改正する条例

緊急通報システム相談はどう

いった内容まで対処できるか。看護師の資格を持ったオペレーターが健康、医療など相応の対応をし、それ以外の相談はいきいき推進課へ取り次ぐ。

賛成全員で可決

### ◆吉川市保育所条例の一部を改正する条例

今回の条例改正の中身と対応する施設は。また予定は。今回の改正は指定管理者制度を導入した場合についての保育時間などの改正である。対応する施設は現在はない。また今後の具体的予定もない。

可否同数 委員長裁決で可決

### ◆平成27年度一般会計補正予算

4月から個別契約を3医療機関とした。市長は本会議で、個別の予防接種者は81件受けられたと聞いていたが、接種期間と医療機関の内訳は。

4月15日から4月30日までの期間で、大久保クリニックが81件、石井クリニックが0件、阿部診療所が0件であった。5月分実績はまだわからない。

予防接種個別契約の件、3月議会で市長は医師会に丁寧の説明し、ご理解得てからと

いた。医師会との信頼関係はどうなるのか。1ヶ月ごとの契約であれば、もう少し医師会と協

議できなかつたのか。

医師会へは何度か足を運んだ

が理解を得られなかつた。市長

は立て替え払いを解消するため

4月中旬に個別契約をした。可否同数 委員長裁決で可決

### ◆平成27年度一般会計補正予算に対する附帯意見

一般社団法人吉川松伏医師会との信頼関係を早期に醸成するように求める。

賛成全員で可決

## 建設生活常任委員会

### ◆市道の路線認定及び廃止について

改めて測量をした理由は。南側の部分は、道路認定して今後整備するか、地権者との話し合いは行ったのか。

越谷吉川線の整備事業に伴い、宅地の境界を決めた事がきっかけである。2人の地権者がいて17m残したのは、接道要件を満たすため、幅員が確保されれば整備も必要となる。

賛成全員で可決



路線認定の現地視察

### ◆平成27年度一般会計補正予算

レイクオスエゴ市との国際交流について参加者が少ないが事業は継続するのか。

例年参加者が10名程度と参加者が少ないが、状況を見ると、子ども達に自信がついたように見える。事業は継続する。

男女共同参画事業、相談員の

相談はどこまで対応できるのか。

電話や面談での相談、主に傾聴である。緊急性のある場合は、

関係各課を交え検討し必要に応じてシエルトーに移送する。

ゾーン30の概要とエリアを決めた理由は。

高久・中曾根・道庭地区で

2カ年にかけて整備する。幹線道路で区分けされる地域とされ吉川警察署と協議して決定した最終処分場の埋め立て量ほどの位か。

平成26年度末で5840.35㎡、埋立率11.14%である。

賛成多数で可決

### ◆平成27年度下水道事業特別会計補正予算

賛成全員で可決

### ◆平成27年度農業集落排水事業特別会計補正予算

賛成全員で可決

## 次定例会の予定

市重要な施策や皆さんに身近な問題が審議されます。お気軽にお越しください。

9月2日(水)	本会議【開会日】
9月4日(金)	本会議【議案審議】
9月7日(月)	本会議【議案審議】
9月9日(水)	委員会【総務水道・文教福祉】
9月10日(木)	委員会【総務水道・文教福祉】
9月11日(金)	委員会【建設生活】
9月14日(月)	委員会【建設生活】
9月15日(火)	委員会【請願審査】
9月17日(木)	本会議【委員長報告】
9月18日(金)	本会議【一般質問】
9月24日(木)	本会議【一般質問】
9月25日(金)	本会議【一般質問・閉会日】

本会議は午前10時、委員会は午前9時30分に開会します。



# 6月定例会 審議結果

## 《市長提出議案》

○=賛成、×=反対、議=議長（議決には加わりません。）、◎=議案提出者、―=退席

議案名	議決結果	自民・みらい						共産				公明		改革		しみん党				
		加藤 克明	野口 博	中村 喜一	安田 真也	中嶋 通治	山崎 勝他	松崎 誠	佐藤 清治	高野 昇	遠藤 義法	小林 昭子	互 金次郎	五十嵐 恵千子	小野 潔	稲垣 茂行	伊藤 正勝	稲葉 剛治	降旗 聡	齋藤 詔治
専決処分事項の承認について（吉川市都市計画税条例の一部を改正する条例）	原案可決	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分事項の承認について（吉川市税条例等の一部を改正する条例）	原案可決	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市国民健康保険条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市介護福祉総合条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市保育所条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市税条例等の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市都市計画税条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市総合戦略推進審議会条例	原案可決	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
職員の育児休業等に関する条例及び吉川市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長の給与の特例に関する条例	否決	×	×	×	×	×	議	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市道の路線認定及び廃止について	原案可決	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
固定資産評価員の選任について	同意	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員の推薦について	同意	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成 27 年度吉川市一般会計補正予算（第 1 号）※ 1	原案可決	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成 27 年度吉川市下水道事業特別会計補正予算（第 1 号）	原案可決	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成 27 年度吉川市農業集落排水事業特別会計補正予算（第 1 号）	原案可決	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成 27 年度吉川市介護保険特別会計補正予算（第 1 号）	原案可決	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成 27 年度吉川市水道事業会計補正予算（第 1 号）	原案可決	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

## 《議員提出議案》

ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書	原案可決	○	○	○	◎	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
地方単独事業に係る国保の減額調整措置の見直しを求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	○	◎	○	○	○	○	○	○
安保関連法案に反対し、そのすみやかな廃案を求める意見書	否決	×	×	×	×	×	×	議	○	○	◎	○	×	×	×	○	―	○	○	×
労働者派遣法改正案に反対し廃案を求める意見書	否決	×	×	×	×	×	×	議	○	○	○	◎	×	×	×	○	―	○	○	×

\*会派名の「共産」は「日本共産党吉川市議員団」、「公明」は「公明党吉川市議員団」、「改革」は「市民改革クラブ」の略です。

\*\*1については、附帯意見を付けて可決であり、その内容は1ページに掲載しています。

**編集後記**

臨時会も想定された中であって、6月定例会の議案書が5月22日に配布。27日には議会運営委員会が開かれ、予定されていた日程に一日追加し16日間の会期でと決まりました。そして、6月2日に定例会が開会、施政方針演説及び21件の議案上程が行われ、その翌日には施政方針に対して4会派から代表質問がありました。そして、5日の議案質疑と続き、各常任委員会での審査を経て委員長報告・採決を行いました。また、市政に対する一般質問では17人の議員が登壇しました。

紫陽花がきれいに彩り季節感を醸し出しています。紙面をお手にする頃には暑い季節になっていくことでしょう。体調に留意されお過ごしください。

松崎 誠



市民改革クラブ 伊藤正勝議員



公明党吉川市議員 小野潔議員



日本共産党吉川市議員団 佐藤清治議員



自民・みらい 中嶋通治議員

表紙の写真

6月定例会で、中原市長が就任して初めて施政方針が示されました。

それに対し、市民改革クラブ、公明党吉川市議員団、日本共産党吉川市議員団、自民・みらいの順に、各会派代表者により、市庁舎・新中学校建設についてなどさまざまな質問が行われました。